

# D6 深層インタラクション

## 標準移動型サイバネティックアバターの開発

### 概要

アバター共生社会プロジェクトでは、人がサイバネティックアバター(CA)を使って自在に活躍する社会(アバター共生社会)の実現を目指しています。そのような社会において遠隔操作できる標準的に利用可能な移動型CAを研究開発しています。ここでは、そのプロトタイプを紹介します。

### 特徴

- 人の分身として活動できる遠隔操作型のロボットやCGエージェントのことを、本プロジェクトではサイバネティックアバター(CA)と呼んでいます。
- CAを通じて仕事や買物などの社会参加が可能になれば、これまで社会参加に困難さを伴う多くの人々が、社会的な活動を活発に行うことができます。
- CAには、設置型CA、移動型CA、CG-CAの3種類があります。移動型CAを遠隔操作することで、フィジカル空間(わたしたちが暮らしている実世界)において、移動を伴って働く／暮らす、といった社会的な活動が可能になります。

### 今後の展開

- 高齢者や障がい者を含む、社会参加に困難さが伴う人々が、CAを活用することで、年代、身体、認知、外見、ジェンダーなどに依存しない、自らの強みを活かして自在に参加できる社会を目指します。

### テーマ「Society5.0への貢献～サイバーとフィジカルの融合に向けて～」との関連

- サイバーとフィジカルが高度に融合したSociety5.0の中で、動き回り、働く／暮らす、といった自在な社会参加を可能にする技術の研究開発に取り組んでいます。

